

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじんせんだいふいるはーもにかんげんがくだん 公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団	団体ウェブサイトURL <a href="https://www.sendaiphil.jp">https://www.sendaiphil.jp</a>
代表者職・氏名	理事長 高橋 宏明	
制作団体所在地	〒 980-0012 宮城県仙台市青葉区1丁目3-9	最寄り駅(バス停) 地下鉄南北線「勾当台公園」
電話番号	022-225-3934	
ふりがな 公演団体名	せんだいふいるはーもにかんげんがくだん 仙台フィルハーモニー管弦楽団	団体ウェブサイトURL <a href="https://www.sendaiphil.jp">https://www.sendaiphil.jp</a>
代表者職・氏名	理事長 高橋 宏明	
公演団体所在地	〒 制作団体に同じ 制作団体に同じ	最寄り駅(バス停) 制作団体に同じ
制作団体 設立年月	平成22年9月	
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等
	[理事]20名 [評議員]16名 [監事]2名 [事務局職員]20名	[団体構成員]66名 [加入条件]採用オーディションによる
事務体制 (専任担当の有無)	専任の事務担当者を置く	本事業担当者名 事業部 演奏事業グループ 千葉 和帆
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名 総務部 次長 曳地 淳

<p>制作団体沿革</p>	<p><b>公益財団法人 仙台フィルハーモニー管弦楽団</b></p> <p>仙台フィルは、1973年に市民オーケストラ「宮城フィルハーモニー管弦楽団」として誕生。翌年に初の定期演奏会を開催して本格的に活動を開始した。1983年4月から芥川也寸志が音楽総監督として現在の礎を築き、外山雄三音楽監督、パスカル・ヴェロ常任指揮者のもとアンサンブルに磨きをかけてきた。2018年度に飯守泰次郎が常任指揮者に就任、ドイツ音楽を中心としたレパートリーによりさらに音楽的深化を推し進めている。</p> <p>2011年3月11日に東北地方を襲った東日本大震災による影響で、仙台フィルは数ヶ月にわたり演奏活動を中止せざるを得ない状況となったが、「音楽の力による復興センター・東北」と協力し音楽を被災者のもとに届けながら絆をつなぐ活動を行い、2011年度エクソンモービル音楽賞洋楽部門本賞と渡邊暁雄音楽基金特別支援を受賞した。</p> <p>本拠地、日立システムズホール仙台コンサートホールでの「定期演奏会」は2016年に300回を数え意欲的な取り組みが高く評価されているほか、2001年から開催されている仙台国際音楽コンクールではホストオーケストラとして出演し、2006年秋からは毎年「仙台クラシックフェスティバル(せんくら)」でも広く市民に親しまれるなど、「杜の都」の音楽文化における中心的役割を担っている。</p>				
<p>学校等における公演実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度〈文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業〉全13公演</li> <li>・令和2年度〈文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業〉全11公演</li> <li>・令和3年度〈文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業〉全10校</li> <li>・令和3年度〈子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業〉全11校</li> <li>・令和4年度〈文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業〉全6校</li> <li>・令和4年度〈文化芸術による子供育成総合事業—文化施設等活用事業〉全2公演(8校同時開催)</li> </ul>				
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼平成28年度〈文化芸術による子供の育成事業—巡回公演事業〉 福井県・南越特別支援学校</li> <li>▼令和元年度〈文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業〉 宮城県・仙台市鶴谷特別支援学校</li> <li>▼令和2年度〈子供のための文化芸術体験機会の創出事業〉 宮城県・宮城教育大学特別支援学校</li> <li>▼令和2年度〈文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業〉 茨城県・茨城県立結城特別支援学校</li> </ul>				
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>			
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://youtu.be/HKdB3ScAY5Q">https://youtu.be/HKdB3ScAY5Q</a></p>			
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">ID:</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">PW:</td> <td></td> </tr> </table>	ID:		PW:
ID:					
PW:					

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 仙台フィルハーモニー管弦楽団 】

対象	小学生(低学年)	○	
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	<p style="text-align: center;"><b>いまここにしかない、音楽に秘めた力</b> ～仙台フィルハーモニー管弦楽団・オーケストラコンサート～</p>		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>① チャイコフスキー:歌劇「エフゲニ・オネーギン」より ポロネーズ          ② 【楽器紹介】「オーケストラの楽器たち」(楽器紹介曲)          ③ 【指揮体験】「君も先生もマエストロ！」          休憩(15分)          ④ グノー:歌劇「ロミオとジュリエット」より 私は夢に生きたい(Sop.)          ⑤ プッチーニ:歌劇「トゥーランドット」より 誰も寝てはならぬ(Ten.)          ⑥ ヴェルディ:オペラ「椿姫」より 乾杯の歌(Sop.&amp;Ten.)          ⑦ 【合唱共演】「オーケストラと一緒に歌おう！」 ※A～Dの中から1曲選択          A.杉本竜一:ビリーブ B.村井邦彦:翼をください          C.八木澤教司:明日という日が D.菅原よう子:花は咲く          ⑧ シベリウス:交響詩「フィンランディア」          ⑨ 【アンコール】開催校校歌</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>		
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名
	該当事項がある場合 権利者名		許諾確認状況
演目概要	別紙(演目概要)をご参照ください。		
演目選択理由	別添(演目選択理由)をご参照ください。		
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	<p>③【指揮体験】「君も先生もマエストロ！」          ⑦【合唱共演】「オーケストラと一緒に歌おう！」          ⑨【アンコール】「開催校校歌」          ※別添をご参照ください。</p>		
出演者	<p>指揮:水戸 博之、佐々木 新平、松村 秀明          ソリスト:宮地 江奈(ソプラノ)、糸賀 修平(テノール)          管弦楽:仙台フィルハーモニー管弦楽団(2管10型)          【編成】10-8-6-6-4/2-2-2-2/4-3-3-1/Timp, 3Per, Hp</p> <p>※別添をご参照ください。</p>		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	<p>出演者: 61 名          スタッフ: 10 名          合計: 71 名</p>	運搬	<p>積載量: 4 t          車長: 9 m          台数: 2 台</p>

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	午前9時	9時～10時30分		13時30分～15時	15分	15時～16時	16時

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	10日	0日	0日	8日	0日	
	11月	12月	1月	計	18日	
	0日	0日	0日			

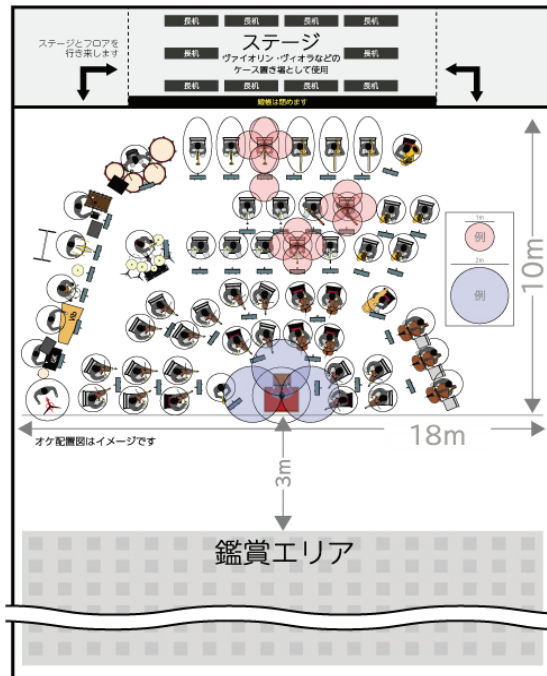
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	全校生徒対象(～800名程)
		鑑賞人数目安	全校生徒対象(～800名程)



公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出や  
がわかる写真)

※採択決定後、採  
択団体へ図面等詳  
細の提出をお願い  
します。



1.[舞台の設置場所] フロア面  
オーケストラはフロア面で演奏します。

2.[舞台に必要な広さ]  
演奏スペース:[縦]10m×[横]18m  
ステージ上:楽器ケース置き場として使用  
(緞帳は閉めます)





3.[暗幕の要否]場合によって必要  
演奏スペースに日差しが直射する場合、  
遮光用に使用します。

4.[緞帳の要否]必要  
舞台上は緞帳を閉めて、楽器ケース置き  
場とします。

5.[トラックの横付け]必要  
楽器運搬トラックは、横付けおよび敷地内  
への留め置きが必須条件です。

6.[ピアノの移動の有無]必要に応じて有  
オーケストラが演奏するスペースにある場  
合は事前にご移動ください。

【公演団体名 仙台フィルハーモニー管弦楽団】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	本公演で鑑賞される児童・生徒の皆さん(全員)
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>[開催時間] 各学校の時間割に則り、「1時間分」を基準とします。 小学校=45分間、中学校=50分間（短縮授業等、時間は柔軟に対応いたします） [派遣人数] 4名(仙台フィル楽団員2名、オペラ歌手1名、ピアニスト1名) [借用備品] ピアノ(グランド・アップライトなど、種類は問いません)</p> <p><b>①オーケストラの楽器紹介</b> オーケストラには、大きく分けて4つのグループ(弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器)があります。ワークショップに持っていく楽器の音色を聴いたり、それ以外の楽器の説明も身近なものを使ったりして丁寧に説明します。</p> <p><b>②オペラ歌手の紹介・歌唱指導</b> 本公演プログラム⑦合唱共演で歌っていただく曲を、オペラ歌手が指導します。ピアノ伴奏は当方のピアニストが演奏します。</p> <p><b>③質疑応答</b> 児童・生徒の皆さんや先生方から、楽器紹介や歌唱指導を通じて出てきた質問・疑問にお答えする時間を設け、皆さんとのコミュニケーションを図ります。</p> <p><b>④ミニ・コンサート</b> ピアノの伴奏に合わせ、弦楽器または管楽器の独奏、オペラ歌手の独唱、複数楽器が組み合わさったアンサンブルなど、様々な作品を演奏します。開催校の希望によっては、楽器・歌の経験がある皆さんとのコラボレーションをすることも可能です。 ※ミニ・コンサートでのコラボレーションを希望される場合は、<b>事前の打ち合わせ</b>が必要になります。</p>  		
<p>ワークショップのねらい</p>	<p>ワークショップは「<b>本公演</b>」への期待感を高めることができると考えています。 本公演を楽しんでいただく工夫は「ワークショップ」にあります。演奏会は、奏者や指揮者だけで作り上げるものではなく、児童・生徒の皆さんと一緒に作ることに意味があります。また、ワークショップはフル・オーケストラとは違い少人数でお伺いします。少人数だからこそ児童・生徒の皆さんとの距離が近い、というのがワークショップの最大の特徴です。 内容は大きく3つあり、はじめにオーケストラの楽器を紹介します。楽団のオリジナルパンフレットを使いながら、オーケストラはどのような楽器から構成されているのか、どのような原理で音が出ているのかを、分かりやすく丁寧に説明します。 次は、本公演で共演するオペラ歌手から合唱共演の指導を受けていただきます。プロのオペラ歌手からの指導を受けることで、授業とはまた違った目線でアドバイスを聞くことができます。 最後に、ミニコンサートをお聴きいただけます。これまで説明してきた楽器を使って、皆さんの耳馴染みのある曲を中心に演奏します。弓の動きや息遣いを間近で見ることができ、さらにオペラ歌手ひとりでどれだけ会場を響かせることができるかを、五感を使って体験していただけます。 ワークショップがあるからこそ本公演への期待感が高まります。数か月後に約60人のフル・オーケストラが来ることをより楽しみにしていただけるような素敵な時間を作っていきたいと考えています。</p>		
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>・特別支援学校での実施の場合は、プログラムの基本的な軸は変えずに、開催校の先生方にお話を伺い、児童・生徒の皆さんに応じた内容に変更することが可能です。</p> <p>・基本的に、右図のような配置でワークショップを行います。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="790 1803 1085 2027"> <p>ステージ </p>  <p>児童・生徒</p> <p>ピアノがステージ上にある場合</p> </div> <div data-bbox="1117 1803 1412 2027"> <p>ステージ </p>  <p>児童・生徒</p> <p>ピアノがフロア面にある場合</p> </div> </div>		

## 同じ空間で音楽と触れ合う<sup>とき</sup>時間を

②【楽器紹介】では、オーケストラで使用する楽器をひとつずつ丁寧にご紹介し、音の鳴る仕組みや楽器の構造を一緒に見たり、皆さんの親しみのある曲を聴いていただいたりして、楽器を通じて皆さんとコミュニケーションを図っていきます。

ワークショップでは、初めてオーケストラを聴く方も楽しめるようパンフレットを使って、本公演に来る楽器の説明を行います。

楽器の説明のあとに続く楽器紹介曲では、各パートが目立つ部分で立奏をします。各楽器の配置や音色など視覚的に楽しめる演出を施しています。



↑小太鼓の説明は、児童・生徒の皆さんに手拍子でリズムを体験していただけます。はじめは追いつけるテンポですが、どんどん速くなっていくと…

←写真は、オーケストラの楽器紹介の様子です。同じ楽器のように見えて実は違う楽器(オーボエとクラリネット)であることを楽器を並べて比較します。

演目概要

## 音楽に秘めた力を感じて

本公演の前半では、約60名のフル・オーケストラとしての作品を、後半ではオペラ界の第一線で活躍している2名の歌手との共演を行います。オーケストラで使われる楽器について紹介するコーナーや指揮体験など、オーケストラをより詳しく学ぶことができます。オペラ歌手が歌うフランス歌曲やイタリア歌曲は、皆さんの耳馴染みのある曲を選曲しました。実際にオペラの世界で歌われる原語で歌うことで、オペラの世界観を楽しんでいただくことができ、オーケストラと歌の持つ魅力を十分に感じていただけるプログラムです。マイクを通さずとも会場全体に響きわたる大迫力な演奏をお楽しみください。



↑第一線を活躍しているオペラ歌手(写真はテノール)との共演も

リンク先	No.2	【公演団体名 仙台フィルハーモニー管弦楽団】
<p>演目選択理由</p>	<p>いつもの体育館に入ると、そこにはたくさんの種類のオーケストラの楽器が並んでいます。コンサートホールのような雰囲気包まれることで、演奏会への期待は高まっています。チューニングが始まると会場は一気に空気が変わります。</p> <p>コンサートは、①<u>チャイコフスキー：歌劇「エフゲニ・オネーギン」より ポロネーズ</u> で幕開け。舞踏会の始まりを告げる金管楽器の盛大なファンファーレ、舞踏会に訪れた人たちのざわめきを描く木管楽器、大きな宮殿をイメージさせる壮大な弦楽器。目を閉じると舞踏会の様子が浮かんでくるような曲です。</p> <p>②【<u>楽器紹介</u>】「<u>オーケストラの楽器たち</u>」 オーケストラを大きく4つ(弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器)に分けて説明をします。楽器の仕組みや音が出る仕組みを丁寧に解説した後に、実際に音色を聞いていただくことで、各楽器をより深く知ることができます。</p> <p>③【<u>指揮体験</u>】「<u>君も先生もマエストロ!</u>」 各楽器をご紹介したあとは、オーケストラにとって重要な役割を持っている指揮者について紹介します。指揮者の役割をプロの指揮者から直接説明していただいた後に、実際に児童・生徒2名に体験をしていただきます。約60人の演奏家を一本の指揮棒でまとめる指揮者の役割を体験できる、貴重な経験です。また、開催校の先生にも1名サプライズで登場していただきます。</p> <p>— オペラ歌手との共演 — 休憩後は、ソプラノとテノールの歌声を中心に聴いていただきます。オペラ歌手が歌う3曲は、フランス語やイタリア語の実際にオペラで歌われている原語で歌うことで、本場のオペラの世界観が体育館に広がります。「人の声」が持つ美しさや迫力、会場の隅まで響かせる歌声をお楽しみください。</p> <p>④<u>グノー：歌劇「ロミオとジュリエット」より 私は夢に生きたい (ソプラノ独唱)</u> 乳母に結婚の話を持ち掛けられた14歳のジュリエットが、「結婚なんて考えられない、私は夢の中で生きていきたいの!」と、はぐらかした後に歌われた曲です。冒頭の美しく高い歌声に、皆さんの心を掴まれるでしょう。</p> <p>⑤<u>プッチーニ：歌劇「トゥーランドット」より 誰も寝てはならぬ (テノール独唱)</u> 「自分の名前を夜明けまでに当てて見せれば、トゥーランドット姫との結婚を諦めましょう!」夜明けが近づき、姫との結婚が確信に変わった王子が歌う曲、それが「誰も寝てはならぬ」です。</p> <p>⑥<u>ヴェルディ：オペラ「椿姫」より 乾杯の歌 (ソプラノ・テノールによる二重唱)</u> 舞台は華やかな宴の場。乾杯の合図のあと、ソプラノとテノールの独唱に続き、全員で楽しくこの曲を歌います。オペラ歌手は本物のオペラのように、手にグラスを持って歌い、曲間には児童・生徒の皆さんと手拍子で共演する部分も予定しています。</p> <p>⑦【<u>合唱共演</u>】「<u>オーケストラと一緒に歌おう!</u>」 A～Dの中から1曲選んでいただき、オーケストラを伴奏と一緒に歌う企画です。ピアノだけでは表現できない、オーケストラの厚みのある伴奏で歌っていただきます。会場にいる皆さんとオーケストラで、ひとつの音楽を作り上げましょう。</p> <p>⑧<u>シベリウス：交響詩「フィンランディア」</u> フィンランドに生まれた作曲家、シベリウスによる自由への願いと祖国への会いに満ち溢れた作品です。中間部の「フィンランディア賛歌」では、オペラ歌手にも歌っていただき、美しいハーモニーを作り上げます。</p> <p>【アンコール】⑨<u>開催校校歌</u> 世界にたった一つしかない皆さんの学校の校歌を、今回は特別にフル・オーケストラ編成にアレンジします。普段から歌っている校歌だからこそ、皆さんの思い出に強く残ることは間違いありません。演奏会のラストをオーケストラだけではなく、オペラ歌手、そして皆さんと共に盛り上げましょう。</p>	

リンク先

No.2

【公演団体名 仙台フィルハーモニー管弦楽団】

### ③【指揮体験】「君も先生もマエストロ！」

フル・オーケストラの指揮を振っていただく体験です。体験する前に、指揮者から役割や振り方などをわかりやすく解説していただきます。そのあとに、体験する2名の児童・生徒に、指揮棒を使った練習をします。すべての説明が終わると、実際に台に立っていただきオーケストラを指揮します。



↑ 指揮者体験の様子

体験する児童・生徒の指揮棒に合わせてオーケストラは演奏をします。指揮棒が止まってしまると、演奏が止まってしまうことも…

さらにはサプライズで、開催校の先生1名にも体験をしていただきます。

### ⑦【合唱共演】「オーケストラと一緒に歌おう！」

演奏プログラムA～Dの中から1曲、学校側で選択していただき、オーケストラを伴奏に合唱を共演するプログラムです。ピアノでの伴奏以上の壮大なスケールに会場は包まれること間違いありません。是非オーケストラ、そしてオペラ歌手と一緒に体育館を素敵なハーモニーで埋め尽くしましょう。



※合唱の楽譜は、オーケストラのアレンジの都合上、楽団で準備いたします。

←合唱共演では、指揮者が児童・生徒の皆さんに向けて指揮をします。

### ⑨【アンコール】「開催校校歌」

世界にたった一つだけの、皆さんの校歌を、フル・オーケストラ版にアレンジして演奏いたします。児童・生徒の皆さんと演奏することで、一生の記憶に残る演奏になることでしょう。

※複数校開催の場合は、曲目を変更させていただく場合がございます。

(過去の例: 県民歌、市民歌など)

項目内容児童・生徒の共演、参加又は体験の形態



リンク先	No.2	【公演団体名 仙台フィルハーモニー管弦楽団 】
出演者		
	指揮者:水戸 博之	指揮者:佐々木 新平
	指揮者:松村 秀明	
	<p><b>指揮:水戸 博之</b></p> <p>1988年北海道出身。東京音楽大学及び同大学大学院作曲指揮科を修了後、広上淳一、パーヴォ・ヤルヴィ、川瀬賢太郎、山田和樹らのアシスタントを務め研鑽を積む。</p> <p>これまでに札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、広島交響楽団などに客演。また合唱指揮者として東京混声合唱団や新国立劇場合唱団と数多く共演する他、音楽スタッフとして新国立劇場等のオペラ公演に参加する。</p> <p>現在オーケストラトリプティーク常任指揮者、東京混声合唱団コンダクターインレジデンス。</p> <p><b>指揮:佐々木 新平</b></p> <p>秋田県出身。東京学芸大学を経て桐朋学園大学にて指揮を専攻。ヨーロッパ各地の国際指揮マスタークラスに選抜され巨匠たちの薫陶を受ける。2013年よりミュンヘンへ留学しヨーロッパ各地でさらなる研鑽を積んだ。2012年および2017年フィデルベルク国際指揮者コンクールにおいてディプロマ、2015年ブザンソン国際指揮者コンクールにおいて本選最終の8人に選出。</p> <p>これまで仙台フィルハーモニー管弦楽団をはじめ国内主要楽団に客演。2021年よりヤマハ吹奏楽団常任指揮者。2022年にはあきた芸術劇場ミルハスの音楽部門アドバイザーに就任。現在オーケストラを中心にあらゆるシーンで才能を発揮する他、テレビ、ラジオへの出演、多彩なレコーディングやイベントでの指揮を務めるなど多方面に活動の幅を広げている。しなやかな足取りで、ひたむきに遥かなる高みに向かう若き指揮者。</p> <p><b>指揮:松村 秀明</b></p> <p>慶應義塾大学法学部卒業。洗足学園音楽大学附属指揮研究所マスターコース修了。秋山和慶、河地良智、増井信貴、湯浅勇治の各氏に師事。「アフィニス夏の音楽祭」に指揮研究員として参加。紀尾井シンフォニエッタ東京で研鑽を積む。第11回アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクール第3位入賞。</p> <p>これまで読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京都交響楽団、東京フィル、新日本フィル、神奈川フィル、大阪交響楽団をはじめ全国のオーケストラを指揮。</p> <p>2012年にはイタリアのボルツァーノ＝トレント・ハイドン管弦楽団に客演し大好評を博す。また、2019年の天皇陛下のご退位と新天皇ご即位にあたり、日本テレビによって制作された楽曲「新時代へ」(佐藤直紀作曲)の録音を指揮(演奏は読売日本交響楽団)。大きな話題となっている。</p>	

リンク先	No.2	【公演団体名 仙台フィルハーモニー管弦楽団 】
出演者		
	<p>ソプラノ:宮地 江奈    テノール:糸賀 修平    管弦楽:仙台フィルハーモニー管弦楽団</p>	
	<p><b>ソプラノ:宮地 江奈</b></p> <p>国立音楽大学卒業。同大学院修了。二期会オペラ研修所修了時に優秀賞並びに奨励賞を受賞。新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁新進芸術家研修制度により、ハンガリー・リスト音楽院にて研鑽を積む。2018年二期会『アルチーナ』モルガーナでは、明るい声質を活かした歌唱と調和のとれた表現で、期待の新人として評された。その後、二期会『後宮からの逃走』ブロンデ、日生劇場『ヘンゼルとグレーテル』眠りの精・露の精、日生劇場ファミリーフェスティバル2019「アラジンと魔法のヴァイオリン」、同2021「アラジンと魔法の歌」に出演し、表現に富んだ演唱で高い評価を得ている。最近では、日生劇場『カプレーティとモンテスキ』ジュリエッタのカヴァーを務め、2022年二期会『フィガロの結婚』(宮本亜門演出)スザンナでは好評を博した。二期会会員</p> <p><b>テノール:糸賀 修平</b></p> <p>武蔵野音楽大学卒業。同大学院及び新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁在外研修員として渡伊。その後ドイツにて研鑽を積む。第1回エンツォ・ソルデッロ国際コンクールで入賞、ロシーニ『セヴィリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵役を獲得。伊・クレーネオにおけるCultura del Mondo festivalで演じた。国内では、新国立劇場『フィガロの結婚』ドン・クルツイオ、『蝶々夫人』ゴロー、『カルメン』レメンダードの他、ブリティッシュ作曲『ピーター・グライムズ』では、急遽ボブ・ボウルズ役の代役を務め、好評を博した。その他、二期会『ダナエの愛』メルクル、『こうもり』アルフレード、チョン・ミョンフン指揮『蝶々夫人』ゴロー、オペラ夏の祭典『トゥーランドット』ボンに出演して好評を得る。コンサートでも「第九」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」等のソリストとして活躍。二期会会員</p> <p><b>管弦楽:仙台フィルハーモニー管弦楽団</b></p> <p>仙台フィルは、1973年に「宮城フィルハーモニー管弦楽団」として誕生。1983年4月から芥川也寸志が音楽総監督として現在の礎を築き、外山雄三音楽監督、パスカル・ヴェロ常任指揮者のもとアンサンブルに磨きをかけてきた。2018年度に飯守泰次郎が常任指揮者に就任、さらに音楽的深化を推し進めている。2011年3月11日に東北地方を襲った東日本大震災による影響で、仙台フィルは数ヶ月にわたり演奏活動を中止せざるを得ない状況となったが、「音楽の力による復興センター・東北」と協力し音楽を被災者のもとに届けながら絆をつなぐ活動を行った。現在、日立システムズホール仙台コンサートホールでの「定期演奏会」のほか、「仙台国際音楽コンクール」「仙台クラシックフェスティバル(せんくら)」でも広く市民に親しまれ、「杜の都」の音楽文化における中心的役割を担っている。</p>	

# 公益財団法人 仙台フィルハーモニー管弦楽団

会長  
顧問  
創立理事長

郡 和子 (仙台市長)  
村井 嘉浩 (宮城県知事)  
故藤崎 三郎助 (6代)

常任指揮者  
レジデント・コンダクター  
指揮者  
桂冠指揮者

飯守 泰次郎  
高関 健  
角田 鋼亮  
バスカル・ヴェロ

コンサートマスター

神谷 未穂  
西本 幸弘

## 1st Violin

○ 宮崎 博  
伊部 祥子  
熊谷 洋子  
小山 あずさ  
坂本 奈津江  
竹内 崇子  
ネストル・ロドリゲス  
ヘンリ・タタル  
松山 古流  
三塚 美秋  
柳澤 直美

## Viola

◎ 井野邊 大輔  
青木 恵  
梅田 昌子  
寺澤 正晴  
百々 暁子  
長谷川 基  
御供 和江

## Cello

◎ 三宅 進  
○ 吉岡 知広  
北村 健  
高橋 咲子  
田澤 緑  
中村 隆人  
八島 珠子  
山本 純

## 2nd Violin

○ 山本 高史  
□ 小川 有紀子  
大友 晴雅  
岡村 映武  
小池 まどか  
佐々木 亜紀子  
近田 朋之  
長谷川 康  
村上 達俊

## Double Bass

◎ 助川 龍  
□ 名和 俊  
河野 昭三  
黒江 浩幸  
田中 洸太郎

## Flute

○ 戸田 敦  
□ 芦澤 暁男  
山元 康生

## Flute & Piccolo

宮崎 英美

## Oboe

○ 西沢 澄博  
高橋 鐘汰

## Oboe & English Horn

木立 至

## Clarinet

○ タビット・ヤジンスキー  
下路 詞子  
鈴木 雄大

## Bassoon

○ 水野 一英  
入交 滋

## Guest Principal Horn

◇ 山岸 博

## Horn

大野 晃平  
須田 一之  
中村 隆司

## Trumpet

○ 浦田 誠真  
戸田 博美  
森岡 正典

## Trombone

○ 紺野 駿人

## Bass Trombone

山田 守

## Tuba

○ ビーター・リンク

## Timpani

○ 竹内 将也

## Percussion

佐々木 祥  
前田 秀明

## Inspector

美濃部 敦  
下路 詞子  
名和 俊

## Chief Librarian

水野 広明

## Chief Stage Manager

大久保 斉象

◎印 ソロ首席  
○印 首席  
◇印 客演首席  
□印 副首席

## 理事長

高橋 宏明

## 副理事長

鎌田 宏  
片岡 良和  
大山 健太郎  
藤崎 三郎助

## 専務理事

高谷 昌宏

## 常務理事

鈴木 基弘  
千葉 真樹  
我妻 雅崇

## 理事

伊藤 幸雄  
氏家 照彦

遠藤 信哉  
鹿又 久孝  
亀井 淳一  
佐々木 裕司  
澁谷 由美子  
須佐 尚康  
藤本 章  
松良 千廣  
村井 泰介

## 監事

鈴木 友隆  
八木 洵

## 評議員

浅野 秀一  
一力 敦彦  
浦沢 みよこ  
大泉 勉  
小野 誠彦  
金子 雅

熊谷 壽道  
佐藤 英夫  
佐藤 靖彦  
鈴木 繁雄  
高橋 知子  
田中 昌志  
田中 正人  
日野 邦光  
平賀 ノブ  
茂泉 亮佐  
森 和子

## 事務局長

鈴木 基弘

## 総務部

部長 千葉 真樹  
次長 曳地 淳  
太田 祥恵  
齋藤 静香

## 事業部

部長 我妻 雅崇  
主査 水野 広明  
主任 関野 寛  
主任 大久保 斉象  
長谷山 博之  
美濃部 敦  
伊東 広大  
千葉 和帆  
カ石 尚子  
後藤 美幸  
氏家 一葉  
佐々木 はづき